

要求図面では表せない建築物の計画上の要点等について、次の(1)~(7)を具体的に記述又は図示する。

(1) 基準階(貸事務室A、貸事務室B及び共用部)について、次の①、②の観点から配慮したこと **キ-0(5)**

①収益性(レントラブル比に関する記述は除く。)や可変性 **(新築スペースとの条件が「無柱空間」は課題条件で可)**
 貸事務室A、貸事務室B共に無柱空間とすることで、広く空間と利用できるので「収益性」が高く、自由に間仕きれるので「可変性」も高い室とした。
 ②快適性やテナント及び利用者の多様性
 貸事務室A、貸事務室B共に、南側に窓を多く設けて採光をとり、利用者の「快適性」に配慮した。 **キ-1 (1) 共用部 (3) 利用者の多様性**

(2) 最上階(シェアオフィス、共用部及び屋上庭園)について、収益性や快適性、多様な働き方に対応可能な空間づくりの観点から配慮したこと **キ-0(5) 直接行き来が課題条件で可**

シェアオフィスのラウンジに屋上庭園と隣接して設け、シェアオフィスの利用者が休憩したり、利用者同士でのコミュニケーションをとったりする場所とした。 **キ-2 (1) 共用部 (2) 収益性 (4) 多様な働き方**

(3) 採用した構造種別と、その構造種別を採用した理由(無柱空間とするに当たり工夫したこと及び耐震性や経済性等について配慮したことも含む。)

採用した構造種別(○で囲む) 木造 ・ 鉄骨造 ・ **RC造** ・ SRC造 ・ その他()
 採用した理由(工夫したこと等) **キ-3 (4) 経済性**
 耐震性に配慮してRC造で建設することで、無柱空間を構成するためにPC梁を使用した上で、梁せいの他、梁も高く、PC梁を受けた柱は800×1000mmの断面寸法とした。 **(階高4000-4200) 梁せいによる 梁下400mm確保が主にも見られる**

(4) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した空調方式と、次の①、②の観点から配慮したこと **建物規模を考慮すると70坪までは屋外設備スペースが狭く感じます**

採用した空調方式 **天井カセット型**
 ①設備スペース(室内機、室外機、配管スペース等)の確保
 室外機を置くための設備スペースを屋上の北側に配置し、各階の部屋に適切にPSを設けた。 **空調PSの表現がありません キ-4 (2) 配慮した事の記事 上記の計画にこの状況の記事は見えず**

②貸事務室A及び貸事務室Bの快適性
 天井カセット人型を空調に採用することで、貸事務室A及び貸事務室Bの天井高を2.8m確保し、利用者の「快適性」に配慮した。 **キ-0(5) 課題条件で可 天井カセット型 + 天井高2.8m = 快適性? キ-4(3) 快適性へのつらかりが読みとれます**

(5) 貸事務室A及び貸事務室Bに採用した排煙方式と、その排煙方式を採用した理由及び配慮したこと

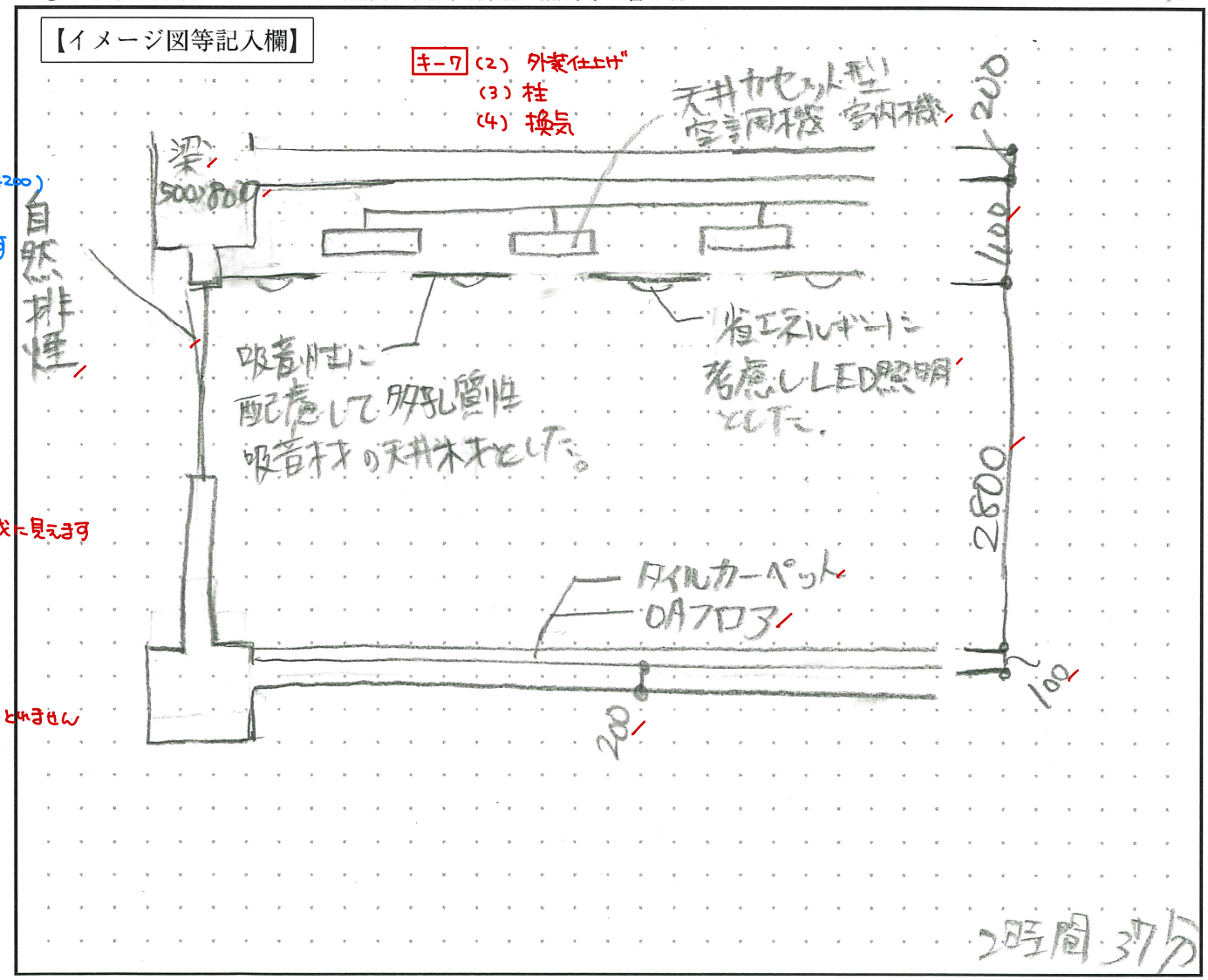
排煙方式(○で囲む) **自然排煙** ・ 機械排煙 ・ その他()
 採用した理由及び配慮したこと:
 経済性に配慮して排煙方式は自然排煙とした。 **キ-5 (2) 配慮したこと**

(6) 省エネルギー及び二酸化炭素排出量削減について、次の①~③の観点から配慮したこと **RFでは省エネ設備の1コマの範囲(室外機も含む)を4以下とする 発電量が少ない印象です(標準解答は室外機面積が太陽光RFで可)**

①パッシブ技術
 貸事務室Aの西側に垂直ルーバーを設け、西日に於ける室温の上昇をおさえる計画とした。 **ルーバーの表現がありません**
 ②アクティブ技術
 屋上に太陽光パネルを設置することで、建物利用時の一部の電気エネルギーを発電によりまかなうこととした。 **(建築物の設計に20坪まで)**
 ③その他(創エネルギー技術、材料の選定等) **ベニヤは建物ではないので、材料の選定は建築物に関する対応は必要です**
 屋上庭園に設置するベンチに間伐材を使用することで、木材の廃棄をへらし、二酸化炭素排出量を削減した。 **キ-6 (4) 創エネルギー・材料の選定**

(7) 貸事務室A又は貸事務室Bのペリメーターゾーンの断面詳細が分かる図やイラスト等(縮尺1/50程度、フリーハンドでもよい。)及び次の①~③のポイント(全て【イメージ図等記入欄】に記入する。なお、(1)~(6)に記述した内容やその他工夫した点を合わせて記入してもよい。)

- ① 建築計画上のポイント(天井高、床高、天井ふところ等の寸法及び内装仕上げ、外装仕上げ等を含む。)
- ② 構造計画上のポイント(柱、梁、床等の主要な構造部材(見えがかりも含む。))の断面寸法を含む。 **20時間 20分**
- ③ 設備計画上のポイント(空調、換気、排煙、照明等を含む。)



文章を1つにせず、問の42個項目ごとに分ける読みやすさ

試験場	受験番号	氏名
	□□ - □□□□□□	あかね 監督